

回復体位クッション

唾液によるむせと誤嚥を予防するには、
唾液がのどから肺に入らない姿勢を
楽に保つことが重要です！



唾液は体温と同じで嚥下反射が起こりにくく、
ダラダラ流れ出てくる唾液を肺に行かせない。
肺から遠ざけるように姿勢をコントロールして
持続性唾液誤嚥を予防する。

のどを傾けて唾液が肺に入らない
ようにし、口から唾液を出す。

「唾液を肺から遠ざける姿勢」回復体位

完全側臥位になり、枕を低く口元を下向きにする。

この姿勢では、唾液は喉の奥に流れにくくなり、ほほに溜まり口元から流れ出やすくなる。

経鼻経管栄養や胃瘻では、唾液の量は増えます。仰臥位でギャッチアップしていると唾液でむせて咳き込む
と腹圧がかかり胃内容物の逆流につながり誤嚥する場合があります、この回復体位が有効です。

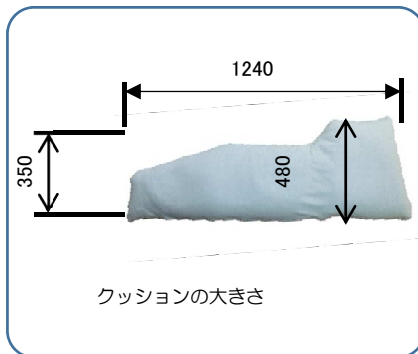
骨盤（大転子）と膝・踵が平行。
関節の痛みが軽減

肩と肘の高さが同じ。
胸郭が開き呼吸がしやすい



※仕様やデザインは予告なしに変更になる場合があります。

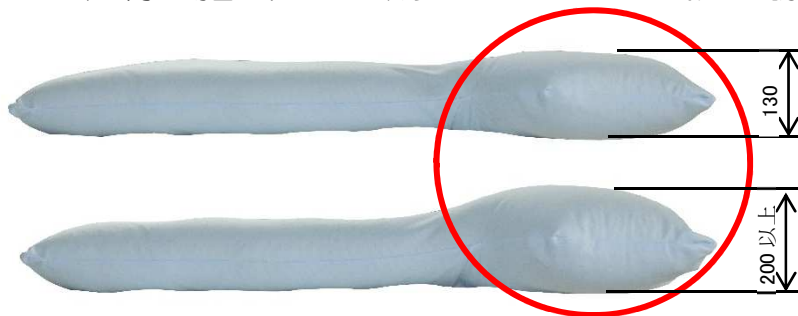
POINT 1 クッションの構成



クッションは、カバー・腕中材・足中材・高さ調整小袋からなります。チャックを開けて、ボリュームを足したいところに高さ調整小袋を入れ、チャックを閉めたのちビーズを手でならして、腕や足の高さを調整できます。中材は写真の向きに入れる。中材のビーズ取り出し口よりビーズを抜いて低くすることができます。中材がずれないように、カバー内部のボタンと固定します。

POINT 2 腕・脚それぞれの高さ調整ができる

- ・側臥位になると仰臥位より、マットに接する面積が小さくなるため圧力が高くなります。特に下になった肩、腰、腕、くるぶしに圧がかかり痛みを感じたり、場合によっては褥瘡の危険性が高くなるので注意が必要です。
- ・男性や女性、個人による体格差と低反発マットレスやエアーマットレスなどの沈み込みにより、マット面から腕や足の高さは異なります。
- ・チャックを開けて、付属のクッションを必要な個所に入れビーズを移動させて高さ調整してください。
- ・高さが足りない場合は、タオルなどを折りたたんで必要な個所に入れ調整してください。
- ・クッション部が高い場合は、ビーズ取り出し口からビーズを抜いて調整してください。



小袋を上肢部に入れ高さを調整した場合



クッションの厚み調整

ビーズ取り出し口のひもを緩め、トイレットペーパーやラップの芯などのパイプを利用して、ビーズをクッションから出し入れして厚みの調整できます。



POINT 3 お手入れ方法

- ・唾液、嘔吐、頭髮、薬剤などが生地に付着し、不衛生になった場合、洗濯と酸素系消毒ができます。
- ・カバーは洗濯ネットに入れ洗濯機で洗濯してください。酸素系消毒はできます。
- ・上肢中材および下肢中材・小袋は、ぬるま湯で手洗い後、酸素系消毒はできます。洗濯機で脱水して下さい。乾燥機を避けて（耐熱 75 度）日陰干して下さい。乾燥機を使用する場合、40度以下の低温乾燥はできます。

■ 注意事項

- 針やカッターナイフなど、刃物や鋭利な物を本体に使用しないでください。
- 本品は可燃性ですので、タバコなど火気の近くでの使用は十分に注意ください。

■ 販売価格

15,000 円（消費税・送料別途）

平成 31 年 5 月 1 日より 18,000 円（消費税・送料別途）

※製品の仕様・価格は予告なく変更する場合があります。

仕様

サイズ(mm)	幅480mm×長さ1240×高さ130～
材質	カバー(ポリエステル100%) 中材生地(ポリエステル100%) ビーズクッション(中材:ポリスチレン、ポリエチレン重合体)
重量	約800g